

看護師の魅力

看護師とは？

“ケア”を通じて、どんなときもその人らしく過ごせるよう支援するお仕事です



看護師は主に療養上の世話や医師の診療補助を通じて、傷病者、妊産婦、高齢者など、健康についてさまざまな問題を抱える人々を支えています。

看護師の役割は赤ちゃんからお年寄りまであらゆる年代の方に寄り添い、病いや老いなどによって心身が衰えても、その人らしく尊厳を保ちながら、苦痛なく快適に過ごせるようケア することです。そこには本人に対する医療的なケアはもちろん、本人やその家族に対する精神的なケアも含まれています。

看護師というと「病院勤務」と思われがちですが、近年、長寿化や少子高齢化を背景にケアの場は病院から在宅、施設へと移行しています。それに伴い看護師の活躍の場も 医療機関から訪問看護ステーション、高齢者向け施設などへと広がっています。

活躍の場は多種多様。働き方は自分次第です。

現在、看護師として活躍されている方々にインタビューしてみました
みなさまの進路の参考になれば幸いです

居宅介護支援事業所 Mさん

自宅で療養される方が介護サービスを利用しながら安心して生活できるようお手伝いをしています。看護師の資格を持った介護支援専門員（ケアマネジャー）が相談を受け、対応することで、看護の経験を生かして体調と生活の安定を図ります。利用者さんの自宅に訪問し、心身の状況や生活環境、本人・ご家族の希望に沿って介護サービス計画を作成したり、サービスを提供する事業所等との連絡・調整を行います。病院の中では経験できない人生の中での“その人らしさ”に寄り添ったケアを提供することが出来るやりがいのある仕事です。

訪問看護ステーション Tさん

- 地域で暮らす方々の生活を支えることができます。
- 利用者様が、慣れた暮らしの中で療養することができます。
- 通院、通所が困難な方々にも看護が提供できます。
- コロナ禍で、面会が困難な状況でありましたが、最期の看取りを家族みんなでできました。

“自宅に先生と看護師さんが来てくれたから”と喜びの声が聞けました。

資格を取得することで、病院や診療所、訪問看護、福祉、教育施設、介護保険施設企業の健康管理など多岐にわたり選択の道があります。現代、高齢化社会の進行や健康管理、疾病予防の関心の高まりなどによって、看護職に求められる役割や活躍の場は広がっています。

【看護師の魅力】

- 患者さんの笑顔や感謝の言葉
- 各専門職としてのやりがい
- 患者さんと接する中で人間としても成長でき、誇りを持てる職業
- スキルアップを活かせ自己成長できる
- 収入面のメリット
- 自分で学んだ専門知識や技術を活かして社会貢献できること

看護学校職員 Sさん

看護師は病院で働くイメージが強いと思いますが、保育園や学校、市役所、訪問看護、ボランティアナースなど働く場は広がっています。

私は、病院で看護師として働いている途中で看護教員の研修を受けて、看護学校の教員になりました。教えることは、看護師の仕事とは程遠いのですが、私や看護学校の職員と力をあわせ、毎年職員の人数の4倍近くあらたな看護師が誕生し、あらゆる場でその力を発揮していただき、この仕事をしていてよかったと感じます。

学ぶときも、楽しかったり辛かったりしていますが、すべて含めて看護師の力となり、出会い、学び、看護の経験が循環しているところが魅力と感じています。

介護老人保健施設 Tさん

【看護師になることの魅力】

- 看護師の免許は国家資格なので、全国どこでも働けます。
- 看護師になると、薬剤や病気の知識が得られるため、親や兄弟の体調不良時や、子供が怪我や病気をしても慌てずに対処できます。
- 働く場所は病院だけでなく、様々な医療施設、会社の医療室やら、保育園に勤務したりもできます。

保健師や助産師に進む道もあり、認定看護師をとるとキャリアアップも出来ますし、収入面も格段に上がります

- 時には亡くなった方の処置も行い、看取りの場面にも立ち会うため、人生の意味や生死について考える機会が多くあり、人間性が深まります。
- 何より、私たちにとっては仕事ですが、深く感謝されるということがやりがいにつながります。

【看護師になってみて気づいたこと】

- プライドが高くなり、気が強くなりがち。
- 医学はどんどん進んでいくため、常に勉強する意識が必要です。
- 早食いになる傾向があります。

看護師になってうん十年 Nさん

看護師を志したきっかけは、白衣と今は見かけなくなったキャップにあこがれたことでした。実際に看護師になってうん十年経ち、改めて看護師の奥深さと尊さを感じています。

第1に、国家資格を持ち一生どこにいても働き続けられます。

今は一億総括総括役社会で女性も結婚後も働く人が増えていますし、働くことを求められます。結婚や出産があっても職場の環境や家庭の事情が許せば働き続けることが可能ですし、一旦休んだとしても再度働くことができます。

第2に、働いていると社会に貢献している時間があります。仕事内容はハードですが、誰かのために何かできることをすると、誰かが必ず感謝してくださるやりがいのある仕事だと思います。

第3に、経済的に安定します。現実問題として、家庭生活を維持していくとき、確実な安定した収入は安心感があります。

このほかにも色々看護師の魅力はたくさんあると思いますが、看護の仕事は誰かのために何かをしたいという気持ちが何より大切だと思います。誰かに言われて志すような仕事ではないと思うので、自分が本当になりたいと思っている人になってほしいです。

養護教諭 Oさん

私が看護師になろうと思ったきっかけは、人が苦しい時やつらい時に、何かできる人になりたいと思ったからです。実際看護師として働いたのは4年間だけでしたが、とっても有意義な時間でした。病院にはいろんな人が運ばれてきます。その人の人生や家族の思いを考えながら、患者さんの一番身近で治療に携わっていける看護師は、ほかの仕事では経験できないやりがいと充実感を感じられました。その分、責任は大きく中途半端な気持ちではできない仕事です。そんな思いが形になる仕事だと思います。

私は看護師から養護教諭へ転職をしました。看護師の時は救急救命センターに配属されていましたが、そこには、虐待を受け運ばれてくる子ども、自殺を図り運ばれてくる子どもが少なくありませんでした。こんなに苦しむ前に、こどもたちの身体や心が傷つく前に、自分にできることはないか考えた結果、養護教諭になることを決めました。養護教諭は、日々子どもと関わり一緒に成長できる仕事です。未来ある子供のことを考えるとワクワクします。養護教諭の仕事にも、看護師の経験は役に立っています。

これからは予測不可能な時代だと言われていています。AIに奪われていく仕事もあります。

でも看護師は、これからの時代も人の役に立てる仕事だと思います。

皆さんの活躍を期待しています。

～ふれあい看護師体験を経て看護師として働く今～

「ふれあい看護体験」を通し見学や看護体験、関係者との交流などを行うイベントに参加され、実際に看護師になられた方の当時の思い、そして現在の思いを聞いてみました



看護師になって10年経過しました。私は離島出身で、今思えば、たくさんの島の方たちに見守られながら過ごしていたのだと感じています。しかし当時の私は、島から出たくてしょうがない思いでいました。中学生の頃、祖父や従兄弟を亡くし、死について「悲しい」という風に思っていました。高校進学し、ふれあい看護体験を学校の先生に勧められ参加したことを覚えています。看護師さんが毎日一生懸命に命と関わっているのを見て、看護師になりたいと将来の進路を決めたきっかけになったように思います。

高校卒業し看護学校へ進学しました。親に金銭面で苦勞をかけたくないと、働きながら通える学校を選択しました。時に落ち込み事もありましたが、友達がいる、実習では支え合い、助け合いながら乗り越えることができました。また、看護学校での体験は新鮮でした。命が生まれてくる場面にも立ち会うことができ、感動したことを覚えています。私は、今親となり、成長する命と向き合い騒がしい毎日を送っています。

看護学校卒業後、就職し急性期病棟へ配属されました。1年目はうまくいかない事が多く、泣いてばかりだったことを覚えています。同期や先輩に支えられて頑張ることができました。その中でも、死にゆく命に関わることもあり、もっと何かできたのではないかと後悔したこともありました。

現在、中堅看護師となりましたが、まだまだだなと思うことはたくさんあります。日々勉強になることばかりで、今で辛いこともあります。様々な命と向き合い、所属している部署のスタッフと笑顔で働かせていただいていることに感謝しています。

S病院 K



私は、ふれあい看護体験で患者さんの車いすを押し、病室まで案内するところを行いました。車いすを押しただけでしたが、患者さんから「ありがとう」と声をかけてもらいました。

当たり前的事を行っただけでしたが、患者さんからしたら自分でできないことであったため、感謝の言葉をかけて頂いたのだと思いました。

実際に就職してからも患者さんから多くの感謝の言葉をかけて頂きました。今後も、患者さんのために最善の看護を提供していきたいと思います。

看護師3年目 M・H



pixta.jp - 25061202

私は、小学生の頃入院した時、看護師さんに良くしてもらい看護師を志すようになりました。

ふれあい看護体験で実際に白衣を着て病院の現場を見させていただき、実際に看護師の仕事を見せてもらって、改めて憧れが強くなりました。

そんな私も、今年で看護師6年目になりました。

「患者さんがつらく苦しい場面で、一番そばにいて寄り添うことができる」

「回復して元気になっていく姿を見ることができる」大変なこともありますが、とてもやりがいのある仕事です。

看護師6年目 Y・H



親戚に看護師として務めている叔母がおり、また私が幼少の時に父が白血病で闘病していた様子を見ていたこともあり、私にとって看護師という仕事は身近に感じる仕事でした。そのため、物心ついた頃には、「私は看護師になるんだ」という思いでした。高校の時、私の現在勤務している病院でのふれあい看護体験の話があり、参加させていただきました。友達4人で参加して、憧れで見ていたワンピースのナース服とナースキャップを着用し、携帯電話で写真を取り合ったことを今でも覚えています。私は、病棟ではなくデイケアで働く看護師さんについて体験学習をさせていただきました。バイタルサインや観察をする様子はかっこよく、その業務をしながら利用者さんと視線を合わせて丁寧にお話を聞いたり、入浴介助にあたりたりテキパキと働く姿に憧れを抱きました。

看護学校を卒業して16年が経ちました。ふれあい看護体験でお世話になった病院に就職をし、現在まで勤務をしています。次は、私が次の世代の憧れの看護師さんになれるといいなと思います。

S病院 C・A



私は、中学生の頃から看護師を目指しており、高校生の時にふれあい看護体験に参加しました。それまでは、テレビやドラマでしか病院で働いている様子を見たことがありませんでした。

実際に現場を見てみて、循環器中心や消化器中心などそれぞれの病棟に特徴があることを知りました。

また、受付に来ていた患者さんが急変された際、迅速な看護師の行動に心を打たれ、私もそのような行動がとれる看護師になりたいと思いました。

現在は実際に看護師となり、病棟で勤務しています。

今でも、患者さんと接する中で「ありがとう」の一言に喜びを感じています。

看護師9年目 K・M



看護師になろうと思ったきっかけは、母が勤務していた病院に行った時に、保育器の中で哺乳瓶より小さな赤ちゃんを看護している看護師さんを見て、素敵な職業だと思い看護師という職業に興味を持ちました。

高校の先生に「君には看護師が向いていると思う。ふれあい看護体験に参加してみ」と勧められ参加しました。患者さんからの「ありがとう」や「がんばって」は看護師になってまたこの場所に戻ってきたいとやる気につながりました。

現在は、外来に勤務し診察介助や救急外来、心臓カテーテル検査室に勤務しています。コロナ禍で大変な職業と思われるかもしれませんが、知識を活かし家族を守るように対策を心がけています。思うようにいかず悩むこともありますが、同じ志を持った同僚と相談しながら解決しています。

今の病院に就職し27年が経ちました。
信頼できる上司や同僚がいるからこそ、同じ病院で充実したお仕事ができています。
看護師の仕事は素敵なお仕事です。

看護師27年目 Y・M



みなさん

私たちと一緒にお仕事しませんか



制作：長崎県看護協会県北支部

長崎県内看護系大学

佐世保市内看護専門学校のご案内

長崎大学
医学部保健学科看護学専攻



長崎県立大学 看護栄養学部



活水女子大学 看護学部



佐世保市看護専門学校



佐世保市医師会看護専門学校



QRコードから各学校のホームページへ移動できます
興味がある方は、QRコードから各大学・看護学校のホーム
ページをご覧ください